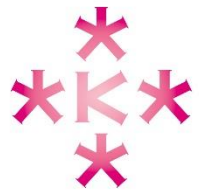




大学がスポーツで子ども達を笑顔に ～未来のオリンピックスターを発掘～



つながる力。

大阪経済大学

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

大阪経済大学 田島ゼミⅡ

○東口 良祐 西岡 知哉 飯田 行哉 郁 泰幸
江畑 司 東野 良汰 馬場 翔希

1.子どもものスポーツ環境の現状

1-1. 2極化する子どものスポーツニーズ

1-1-1. 子どものスポーツ離れ

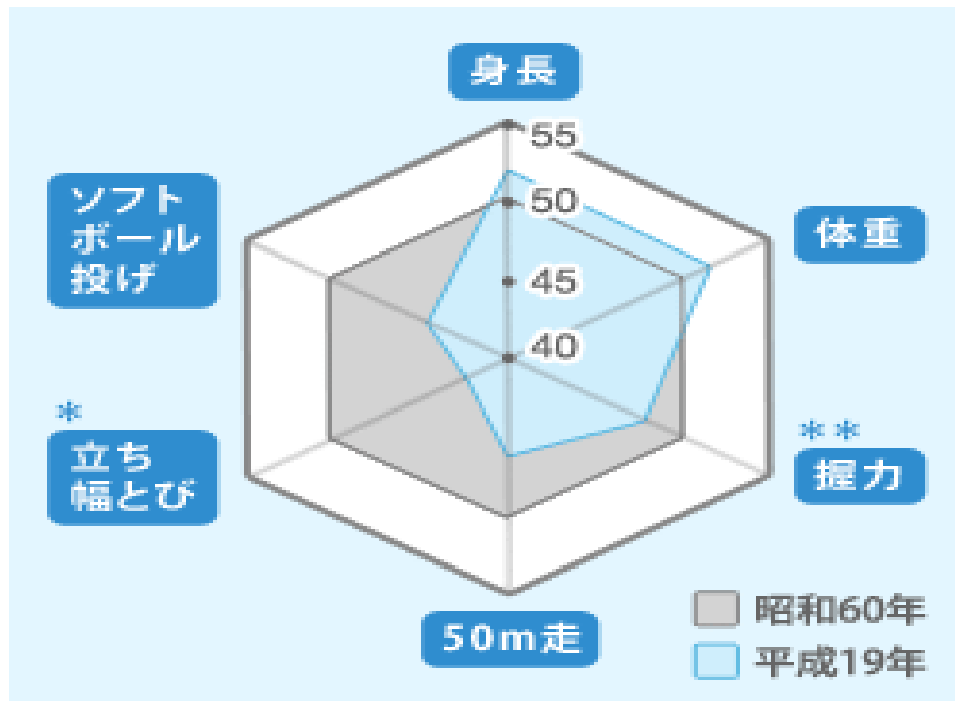


(出典) フィットネスNicoNicoFactoryのSTAFF日記

(出典) 子どもにいつからスマホを持たせるべき？世の中の声を考えるべきルールとは

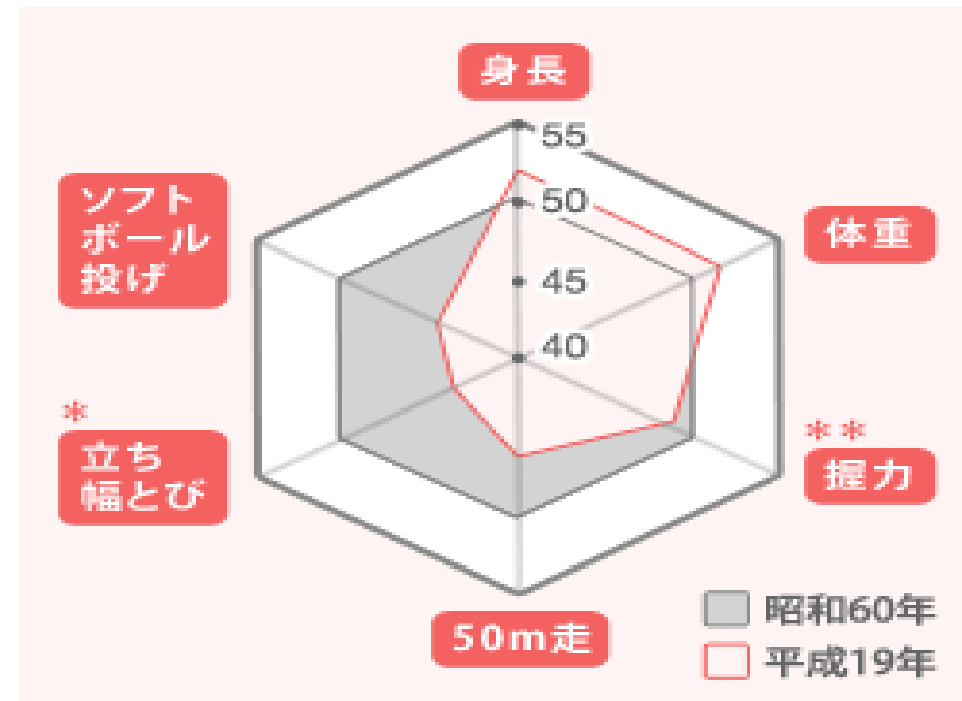
1-1-2. 子どもの体力低下

小学生男子



* 9歳の記録のみ ** 10、11歳の記録のみ

小学生女子



* 9歳の記録のみ ** 10、11歳の記録のみ

(出典):子どもの体力低下と食生活の関係は？ -Dole Japan.Inc.

1-1-3. トップアスリートを目指す子どもたち



(出典)まとめいくma



(出典) SPORT.es



(出典)ITTF

空手

・高野 万優(12)

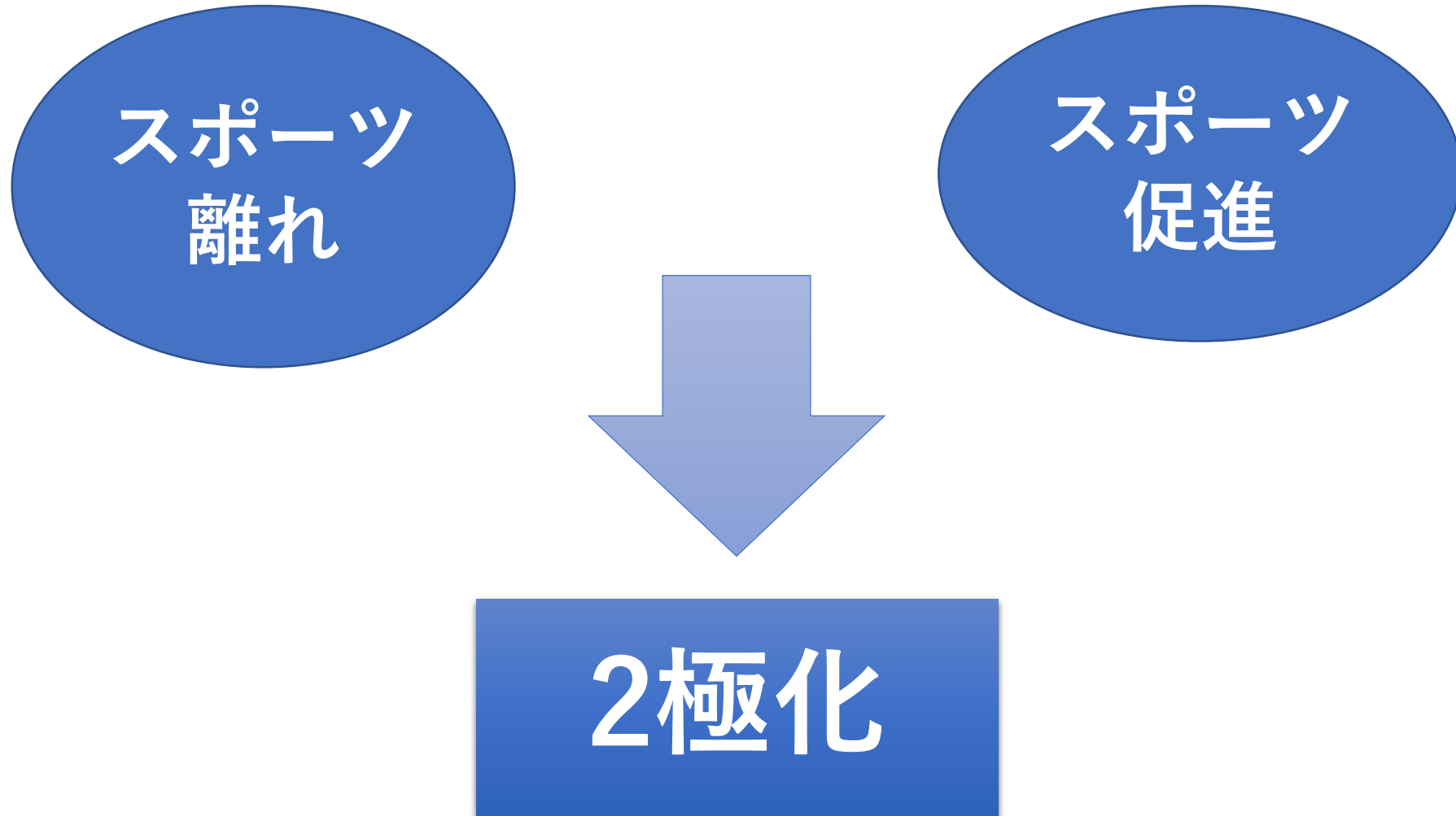
卓球

・張本 智和 (15)

サッカー

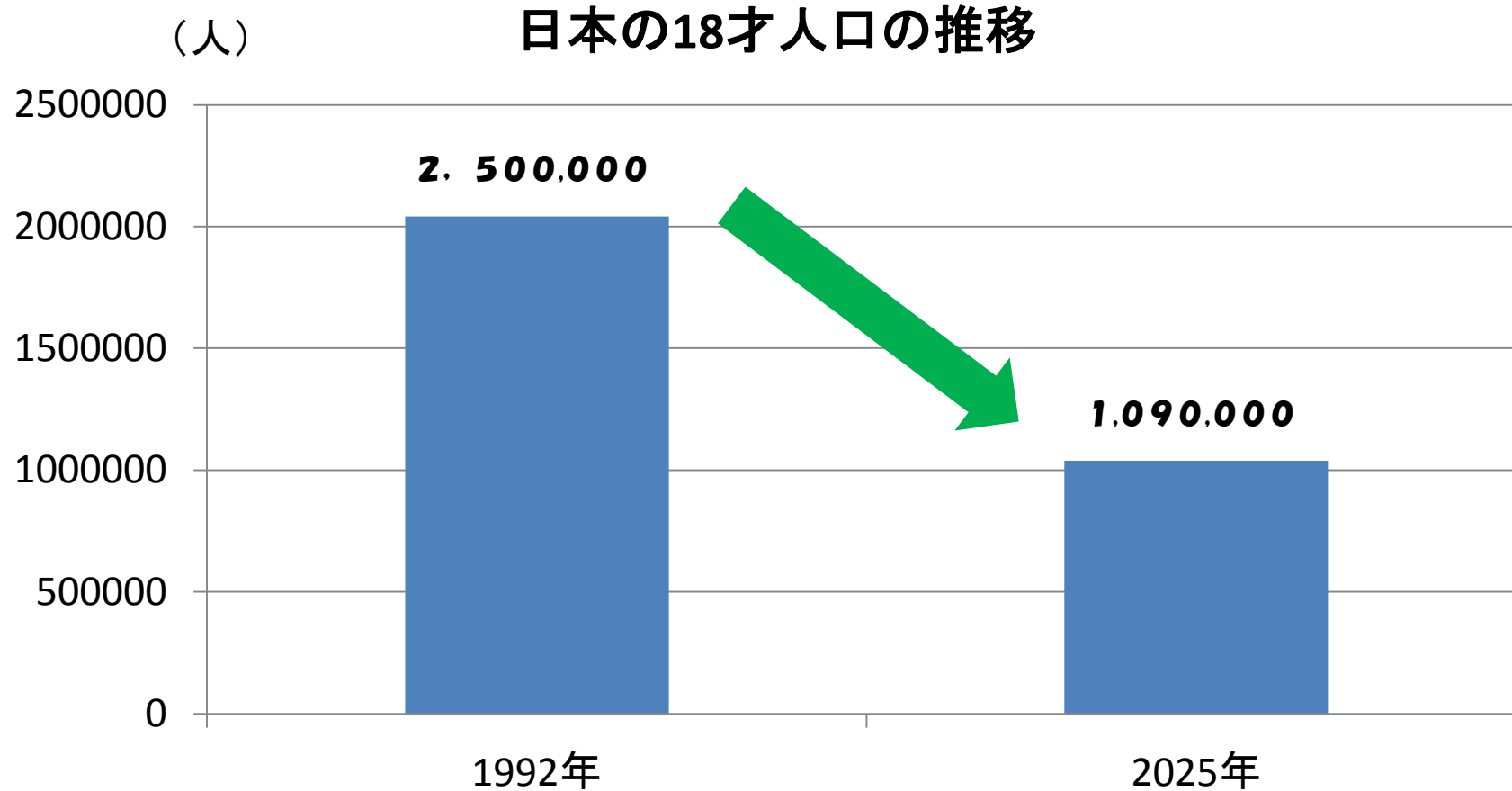
・久保 建英 (17)

1-1-4. 2極化する子どもたちのスポーツニーズ



1-2. 大学および大学スポーツの現状

1-2-1. 激減する日本の18才人口



約30年で100万人近くの減少！

出典:リクルート
「カレッジマネジメント」175号

1-2-2. 今後の大学のあり方について

- ①大学教育の質的転換と大学入試改革
- ②グローバルに対応した人材育成
- ③地域再生の核となる大学づくり
- ④研究力強化

出典:(文部科学省)

私たちの大学(大阪経済大学)は
③についての取り組みが重要になる
と考えた

1-2-3. スポーツと大学との関わり合い

地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト

(前年度予算額 : 256,462千円)
27年度予算額 : 91,700千円

- 拠点クラブにおいてトップアスリートを活用し、地域のジュニアアスリート等を指導するとともに、学校に「小学校体育活動コーディネーター」を派遣することなどを通じて、**地域スポーツとトップスポーツの好循環を実現**
- 拠点クラブを核とした**エリアネットワーク**を構築し、**好循環の自立・継続化**



1-2-4. 大阪経済大学

スポーツ健康
コース

33の運動部

施設

- ・コーチング
- ・バイオメカニクス
- ・心理学

- ・硬式野球部
- ・陸上競技部
- ・競技スキー部



研究資源



競技者と指導者



場所

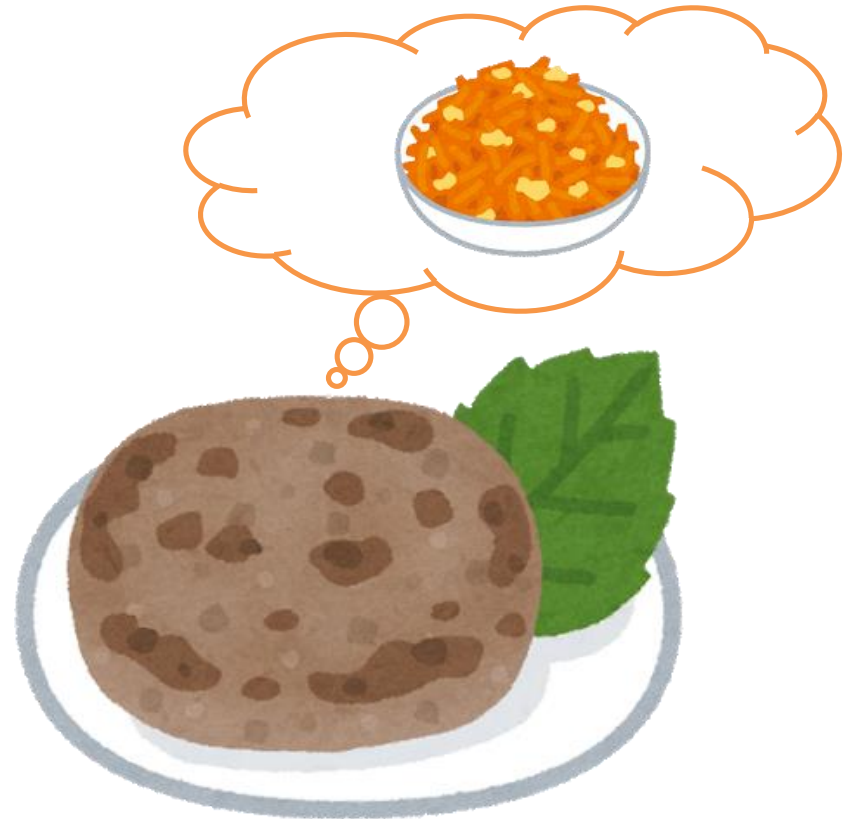
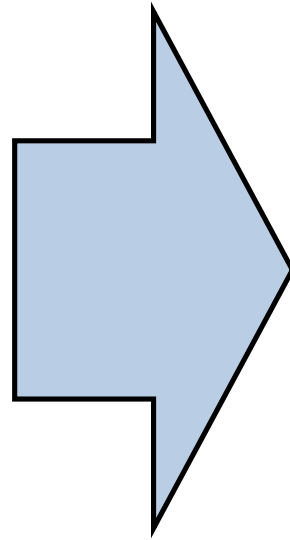
1-3. 本企画の3つのゴール

～私たちの目指す姿～

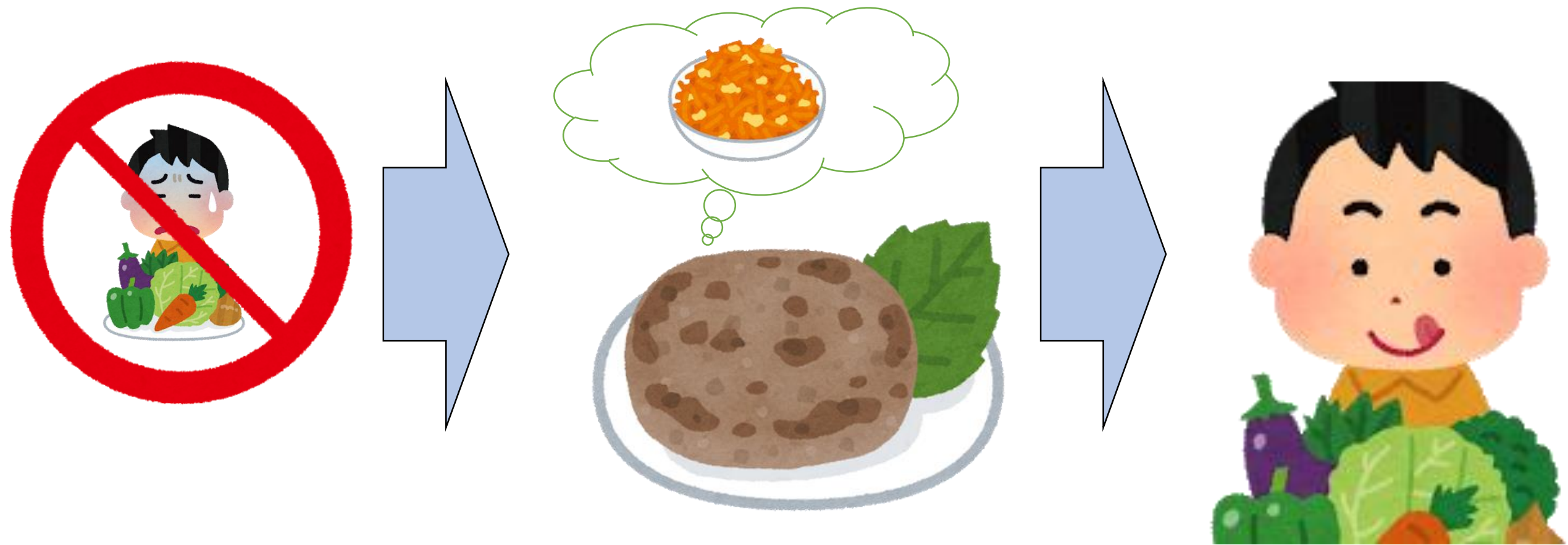
- 目標1: スポーツが苦手な子でもスポーツを好きにする種目や才能の開発
- 目標2: 色々なスポーツを経験できる場づくり
- 目標3: このプロジェクトからオリンピック選手を輩出すること

2.スポーツが苦手な子でもスポーツを好きにする種目や才能の開発

野菜が嫌いな子どもに野菜を好きになってもらうには工夫が必要！



苦手でも楽しめるスポーツを提供する！



2-1 ゆるスポーツ、ニュースポーツの 開発・普及（ハンドソーブボールを例に）

(1) ねらい

手がツルツルのため通常の運動神経が関係なくなる。

(2) ルール上の工夫

特徴的なソープ



追加のソープ



<https://sportie.com/2015/07/handsoapball>
<https://yurusports.com/sports/handsoapball>
<https://shigotonadeshiko.jp/5930>より

2-2 ゆるスポーツ、 ニュースポーツ種目

- ティーボール



- タグラグビー



- 手錠バレー



<http://www.teeball.com/photostudio/>

http://www.lixil-madolier.jp/blog.php?post_cmd=article&post_blogdir=5000147&post_eid=306636

<https://shigotonadeshiko.jp/5930>より

2-3 子どもスポーツクラブ

	種目	種目概要	日時	場所	定員
4月	ハンドソープボール	ツルツルな手で行うハンドボール	第1.第3.第4日曜	大阪経済大学体育館	30名
5月	アルティメット	フリスビーをパスでつなぎエンドゾーンでキャッチ	第1.第3.第4日曜	大阪経済大学摂津グラウンド	30名
6月	手錠バレー	両手を手錠で拘束し全て両手でプレーする	第1.第3.第5日曜	大阪経済大学体育館	30名
7月	ティーボール	野球やソフトボールに似た種目	第1.第3.第4日曜	大阪経済大学摂津グラウンド	30名
9月	ブラインドサッカー	アイマスクを装着し音の鳴るボールでプレー	第1.第3.第4日曜	大阪経済大学体育館	30名
10月	タグラグビー	タックルなどの接触をしないラグビーのようなもの	第1.第3.第4日曜	大阪経済大学摂津グラウンド	30名
11月	キンボール	大きなボールを床に落とさないようにチームで支える	第1.第3.第5日曜	大阪経済大学体育館	30名
12月	ディスクゴルフ	フリスビーを用いてのゴルフ	第1.第3.第4日曜	大阪経済大学摂津グラウンド	30名
2月	インディアカ	羽のついたボールで行うバレーと似たネットスポーツ	第1.第3.第5日曜	大阪経済大学体育館	30名
3月	ボッチャ	ジャックボールと言われる目標にボールを近付ける	第1.第3.第4日曜	大阪経済大学体育館	30名

ところで…

スポーツが苦手な子でもスポーツを好きにする
種目や才能の開発

苦手な子も上手な子も一緒に楽しめるルール

うまくならなくても楽しめるルール

痛くない分かりやすく楽しいルール

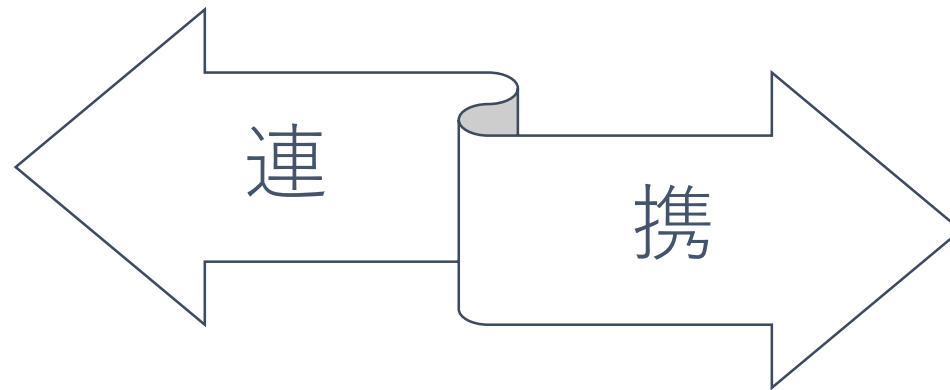


(次の課題)

良いプログラムを作っても苦手な子がスポーツの場に来てくれる？

2-4 出張型スポーツプログラムの展開

学童保育などと連携を取り、スタッフの大学生が子どもたちのいる場に出かけ、スポーツを提供する！



展開方法…

- 日時) 1～2年生 火曜 3～4年生 木曜
- 場所) 大隅西小学校
- 内容) 青少年スポーツクラブと同様
- スタッフ) 大阪経済大学生 スタッフ
- 費用) 無料

プログラムの質と 学生モチベーションを担保する 4つのポイント

- 1 スタッフは保健体育教育に関する特定の単位取得者
- 2 スタッフはスポーツに関する特定の有資格者
- 3 将来は教員またはスポーツ指導を目指す学生とする
- 4 スポーツインターン科目とし、学生には単位認定する

3. 多種目制のスポーツ文化へ

私たちが想うこと・・・

- 日本ではスポーツ種目を一種目に絞る傾向
- さまざまな種目に親しむことで豊かなスポーツライフを体感できる
- ここでは部活に入っている中学生でも多種目のスポーツを楽しむ環境をつくる。
- 大学が働きかければ、それは可能になると私たちは考えます。

3-1. 大学だからできること

なぜ？大学と連携？？



大学には多くの運動部があり、
そこには「**競技者**」「**施設**」「**指導者**」が
いる。



**大阪経済大学には33の運動部が
ある！！**

3-2. 「大阪市部活動指針」

～プレイヤーズファースト～ 「大阪市のめざす部活動」

- (1) 学期中は、週当たり2日以上以上の休養を設ける
(平日は少なくとも1日以上以上の休養を設ける)。

《平成30年7月》



**休みのうち1日を部活種目以外のスポーツを
体験できる場をつくることを 提案！**

- ・他の中学生との交流の機会になる
- ・中学の部活にない運動種目ができる
- ・スポーツに対する考えが広がる。

3-3.「中学生に多種目スポーツ文化を！」

(概要)

1. 開催種目

- 硬式テニス
- アメフト
- ラグビー
- ラクロス
- 弓道
- ボクシング

2. 場所、日程、申込方法

- 1) 場所・大阪経済大学(体育館・摂津グラウンド)
- 2) 日時 毎週月曜日 18時から20時
- 3) 申し込み方法 3ヶ月区切りで更用

中学校に少ない種目を展開

3-4 中学生に多種目文化を(スケジュール)

第一回目	ガイダンス 目標設定	目標を作ることですること明確になる
第二回目	体力測定 技量	それぞれのレベルに合ったチームに分ける
第三回目	アメフト	アメフトボールに触れて見よう
第四回目	ラクロス	ラクロスの防具をつけてボールパス
第五回目	ラグビー	ラグビーボールで遠くに蹴ろう
第六回目	専門種目	先輩たちに専門種目を見てもらおう 基本的技術
第七回目	弓道	一回でも的に当てよう
第八回目	硬式テニス	いろんな友達とラリーを続けよう
第九回目	ボクシング	1ラウンド 3分間動き続けられるか？
第十回目	専門種目	先輩たちにアドバイスを貰おう 発展的技術
第十一回目	選択	自分でしたい種目を選択
第十二回目	選択	自分でしたい種目を選択
第十三回目	スポーツの楽しさ	いろんなスポーツ触れることで考えが広がる。
第十四回目	スポーツ戦略	チームの為に何ができるのか
第十五回目	まとめ	自己分析 いろんなスポーツをしてみて

3-5. 中学生に多種目文化を(ねらい)

多種目に親しむことで、私たちが目指すこと

- 中学生の時からたくさんのスポーツを知る。
- スポーツをすることで専門種目でしているスポーツに対しての考えが変わる。
- 他のスポーツ選手と交流することでお互いを高めあえる。

4. 目指せ！日本代表！

～トップアスリート育成大学連携プロジェクト～

4 - 1. 戦略

- ①小中学校の習い事や部活にない種目
- ②①のうち、大経大の体育会運動部にある種目
- ③①②のうち、施設、指導者が充実した

★一貫指導体制 小4～中3までの一貫指導
体制をつくる

4 - 2. 開催種目



アイススケー
ト



弓道



ラクロス

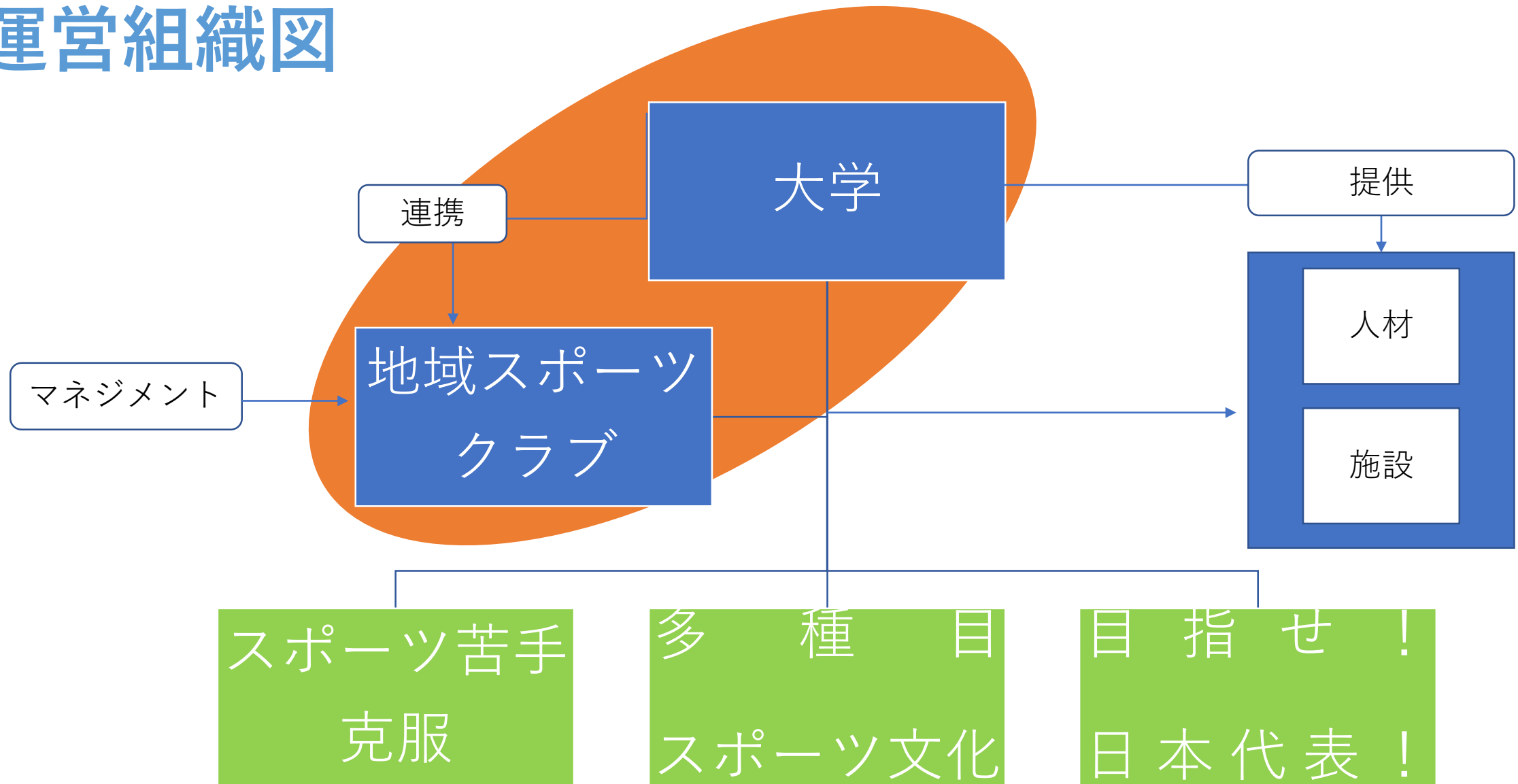
※どれも、大経大に運動部が存在するので、指導や施設も充実！

4 - 3. 育成プラン

種目	対象クラス	活動内容	育成目標
ラクロス	小4から中3まで 誰でも入会可能	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週一回、土日の午前ラクロス部の活動日に一緒に練習参加 ・平日の夕方、ラクロス部の活動がない日に、子どもだけで練習【週2回】 	小学生のジュニアチームと中学生中心のシニアチームを形成 ↓ 高校では日本代表クラスの選手を目指す
弓道		<ul style="list-style-type: none"> ・毎週2回、弓道部とともに2～3時間練習 【安全面に重視、弓道部からの直接指導もあり】 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生→基本技術 ・中学生→全国大会で活躍できる選手育成 ・高校ではオリンピックを狙える選手に！
アイススケート		<ul style="list-style-type: none"> ・アイススケート部とともに週に2, 3回練習参加 ・アイススケート部からの個別指導もあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は基本技術を学び、中学生では種目によっては全国大会を目指せる選手に！

5. マネジメント

運営組織図



5-1. マネジメントポイント

1. このプログラムは大学と地域スポーツクラブが連携して行う。

2. 大学と地域スポーツクラブが連携

- 1) より地域のニーズをみたすプログラム提供ができる
- 2) それぞれの得意分野を活かした活動ができる

具体的には

- a) 施設、指導者は大学を活用 ※指導スタッフが学生、指導監修がコーチ
- b) 指導監修は部活動コーチと地域クラブ指導スタッフが協働で行う
- c) 学生スタッフは、規定の単位取得や実習授業として単位化することで学生のレベルアップに寄与する取り組みにする
- d) 広報、入会・大会対応は地域クラブが担当する

3. 収益分配

収益は大学50%（大学20%・施設費10%・部活動20%）

地域スポーツクラブ50%で分ける。

参考文献

世界ゆるスポーツ協会HP <https://yurusports.com/> 10/20閲覧

ゆるスポーツ協会HP <https://yurusports.com/> 10/20閲覧

しごとなでしこHP <https://shigotonadeshiko.jp/5930> 10/20閲覧

マドリエ白杵 <http://www.lixil-madolier.jp/> 10/20閲覧

大阪市HP

<http://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000441250.html> 10/19
閲覧

ご静聴ありがとうございました。